



安心・安全

校長 木村知広

令和7年度の教育活動がスタートして、1ヶ月。学校生活も順調に軌道にのり、24日には運動会が控えています。そのため、今週から運動会練習が本格的に始まりましたので、睡眠・食事・休養を大切にしながら、健康管理をしっかり行くとともに、ケガ等には十分気をつけて、本番を迎えて欲しいと思います。また、みんなで協働することを大切にしていきたいと思います。皆さんの頑張りを期待しています。

さて、運動会練習等のケガ等に気をつけることを含めて、日常生活での安心・安全を確保することが、学校生活では大切になってきます。そのため、5月12日の全校朝礼では、「安心・安全」と「困難を乗り越える」とテーマに動画を視聴しました。動画（下記のリンクからぜひご確認ください）は、小学校からプロバスケットボール選手を目指した山田さんが、国体選考会を控えた高校3年生の時、イス引きによって脊髄損傷・下半身まひとなったこと、そして、その困難を乗り越えて車椅子バスケットの日本代表をめざして練習しているという内容で、非常に考えさせられる動画でした。

目標を実現するために大切にすること！

自律

目標を常に見据え、自ら学び・考え・判断し・責任をもって行動すること



自らの言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること

違いを認める心、思いやりの心、感謝の心をもって、多様な人と協働すること

自立

自分のことは自分でやること

（人のせいにしない）

協働



目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること

動画「教室のいたずら“椅子引き”で下半身まひに「同じ体になってほしくない」
プロの夢絶たれた男性が訴え」

<https://youtu.be/NSoOWU34Zw8?si=axX9IVWt9K97BJGS>



また、動画視聴後は、私からの講話をもとに改めてそれぞれのテーマについて考えを深めるとともに、安心安全な学校生活等を実現するために、「自律・自立・協働」の大切さも考えました。その後、教室に戻ってから、朝礼での動画と講話を受けて「感じたこと、考えたこと、気がついたこと」を各自が振り返りましたので、一部をご紹介します。

【振り返りの記述】

- ◇誰もが知っているイス引きのいたずらでまさか車椅子になり、夢が閉ざされてしまう人がいるなんて驚きました。イス引きで車椅子になってしまった人がいるということはどこかで聞いて知っていたんですが、まさかプロのバスケット選手を目指していた人だったとは知りませんでした。今日動画を見てお話を聞いて、やっぱりいたずらは本当にしてはいけないなと思いました。いたずら一つで、された人は車椅子になったり、夢が閉ざされてしまったりするし、した方も、その罪を一生背負って生きていかなければいけなくなってしまうので、いたずらは絶対にしないようにしようと思いました。
- ◇自分の人生があんなイタズラで狂わされると考えるとすごく怖いなと感じた。普段、学校で冗談を言い合っているがそれも、もしかしたら他人からあの人ひどいと思われるかもしれない。平和に暮らすため、今回の全校朝礼の動画を見てよかった。話がそれてしまうが、動画に出てきた人はバスケうまかったと感じた。しかも、人生を台無しにされてしまったのにどうしてあのように元気に生活できるのだろう。
- ◇自分の夢だったバスケットボールができなくなってしまうと、その夢を諦めずに車椅子を使ってバスケットボールをまた挑戦していてすごいなと思いました。私だったら、下半身が動かなくなり、自分のやりたかったことができなくなってしまうたら、絶望でまた挑戦しようという気持ちにはなれなかったと思います。けれど、今日の動画を見て何事も前向きに考えていこうと思いました。

◇運動会のこともあったけど、車椅子バスケの動画を見て、椅子引きをやってしまったらそのやられた人の人生を取り返しのつかないような体になってしまうということが改めて強く感じました。もし仮に椅子引きをやっている人がいたら注意して教えてあげようと思いました。椅子引きはやった人が7、見ていた人が3で悪いと思いました。この3は、椅子引きをやっている人と共犯みたいなもので、気付いているなら声をかけてあげたらいいのにと感じました。椅子引きは立派ないじめで、これからは絶対にやらないと感じました

◇下半身麻痺になってプロを諦めざるをえなかったが、今は車椅子バスケでプロを目指しており、その強い意志に感動しました。私も〇〇だから〜と決めつけずに様々なことに挑戦していきたいです。この話を聞いて椅子引きは将来を奪うような恐ろしいことだと改めて実感でき、私も椅子引きを絶対せず、周りの人がしていたら注意するようにしたいです。

◇学校の出来事という身近なところで誰かの人生が大きく変わることがあることを知りました。学校で安心、安全な場所にするためには、一人ひとりの意識を高め、責任をもって行動することが大切だと改めて感じました。また、車椅子のバスケットボールの選手は、車椅子になったことで夢を諦めるのではなく、違う形で成し遂げようとする姿勢がかっこいいなと思いました。私もなにかをきっかけで挫折することはあると思いますが、今日見た動画をもとに諦めない姿勢を持つよう感じました。

◇これから運動会の練習が始まるので、体調やけががないように気をつけて生活していきたいです。意外にもケガの原因がたくさん身近にあると知ったので、自分にも友達にもケガをさせないように考えていきたいです。そのけががその人の人生に関わってくると思うとこわいなと思いました。赤二に自律・自立・協働の意味がだんだん分かってきた気がします。

◇安心・安全は一人がルールを守るだけではなく、周りの人全員が守らなければ実現しないということに改めて気づいた。ちょっとしたイタズラが人生に関わる出来事になる可能性があるの、これくらい大丈夫だろうという気持ちを捨て、生活していきたいと思った。イス引きはした人もされた人も大変な思いをしてしまうので絶対しない。



振り返りの記述を読んで、皆さんどのような感想をもちましたか。朝礼という限られた時間の中でしたが、しっかり考えを深めることができたことが十分に伝わり、とても嬉しかったです。

しかし、安心・安全を確保することや、困難を乗り越えることを実現するには、考えているだけでは実現できません。安全・安心を実現するために「自ら学び、考え、判断し、責任をもって行動すること」、困難を乗り越えるために「自分の言動を常に振り返り、自分を信じ、ねばり強く挑戦を続けること」が大切です。さらに、「目標実現に向けて、個性を活かしながら団結し、協力すること」も大切です。

これからの学校生活・日常生活においては、「自律・自立・協働」を大切にしながら、安心・安全な環境を実現し、困難を乗り越え、一人一人の目標を実現していきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

◆挫折を経験した事がない者は、何も新しい事に挑戦したことが無いということだ。(アインシュタイン)

生徒の活躍

○令和7年度板橋区中学校バスケットボール春季交流戦

男子 第2位 女子 優勝



学校行事等のお知らせ

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。右のQRコードもしくは下記のURLからご確認ください。また、玄関にも生徒の活躍等をサイネージとして公開しています。ご来校の際にはぜひご覧ください。

<https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog>



赤二中日記

中学校における安全教育

生徒たちが心身ともに健やかに育っていくためには、誰一人として取り残すことなく、安全な環境の下で、安心して生活できる学校・社会を築いていく必要があります。

令和7年1月、政府の地震調査委員会は、今後30年以内の南海トラフで発生する巨大地震の発生確率を80%程度に引き上げました。東京都においても、発生が危惧される首都直下地震等をはじめ、近年の気候変動に伴い激甚化する風水害、富士山噴火による降灰被害などのあらゆる自然災害に備え、生徒一人一人が防災に関する意識を高め、自分の命を守り、身近な人を助け、さらに地域に貢献できる人になるための防災教育の推進が求められています。

また、道路交通法の改正を受け、自転車乗車時のヘルメットの着用促進や、「ながらスマホ」の危険性に関する啓発の取組等の交通安全教育、さらには、登下校時や校内での安全、SNS等の安全利用、「生命（いのち）の安全教育」等の生活安全に関する教育の推進など、生徒たちの命を守るために、安全教育の一層の推進が求められており、安全教育の目標を次のとおりに定めています。

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

○様々な自然災害や事件・事故等の危険性、安全で安心な社会づくりの意義を理解し、安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けていること。 **(知識及び技能)**

○自らの安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に付けていること。 **(思考力、判断力、表現力等)**

○安全に関する様々な課題に関心をもち、主体的に自他の安全な生活を実現しようとしたり、安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付けていること。 **(学びに向かう力、人間性等)**

本校では、上記の目標を実現するために、各教科等で指導するとともに、朝礼や学校行事、避難訓練、安全指導等のあらゆる教育活動においても指導しているところです。また、これらの安全教育に関する指導を通じて、本校で大切にしている「**自律・自立・協働**」する心を育てるとともに、**生徒達の危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる能力**を育成しています。

ぜひ、各家庭におかれましても、防災や交通安全、生活安全に関することについて日頃からご指導いただき、危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる能力を高めていただきますよう、お願いいたします。

5月17日は引き渡し訓練です。板橋区では、震度5弱以上の地震が発生し、近隣に大きな被害が発生した際には、原則として保護者の方に直接引き渡す必要があることから行う訓練です。ぜひ、ご協力いただきますよう、お願いいたします。また、実際の災害発生時には、板橋区立学校等緊急連絡・お知らせ配信システム「すぐー」と本校ホームページでお知らせすることになります。ご家族の皆様が確実に「すぐー」をご登録いただくとともに、日常的に本校ホームページをチェックしていただきますよう、お願いいたします。

【家族で防災会議】地震・火災・風水害に備えて、家族で以下のような話し合いをしておきましょう。

- ◇家の中で安全な場所はどこか ◇応急手当の知識を身につける
- ◇消火器具などの安全点検 ◇火気器具などの安全点検 ◇避難場所、避難道路の確認
- ◇家族の役割分担 ◇万が一の際の家族との連絡方法・集合場所
- ◇非常持ち出し品の点検、置き場所の確認

【参考】東京都防災ホームページ <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/bousai/1000027/1000286.html>